

配信資料に関する技術情報第 576 号

～ 日本沿岸海況監視予測システムによる海氷予測の精度向上について ～
(配信資料に関する仕様 No.30605 関連)

1、概要

気象庁では、日本沿岸海況監視予測システム（JPN システム）によって計算した海氷密接度、海氷の厚さ、海氷の漂流速度を「日本沿岸海況監視予測システム海氷 GPV」として提供しています（配信資料に関する仕様 No.30605）。

このたび、海氷下の混合層における水温低下量の適正化等の海洋データ同化手法の変更を実施します。この変更により、北海道沿岸部の海氷密接度の予測精度が向上します。

2、開始日時

令和 4 年 1 月 18 日 00 UTC（日本時間 18 日午前 9 時）を初期値とする配信資料から実施します。

3、変更の効果

図 1 に変更前と変更後の 4 日予測、及び解析値の海氷密接度を示します。変更後は、北海道沿岸部の海氷密接度の予測が解析値に近づいていることが分かります。

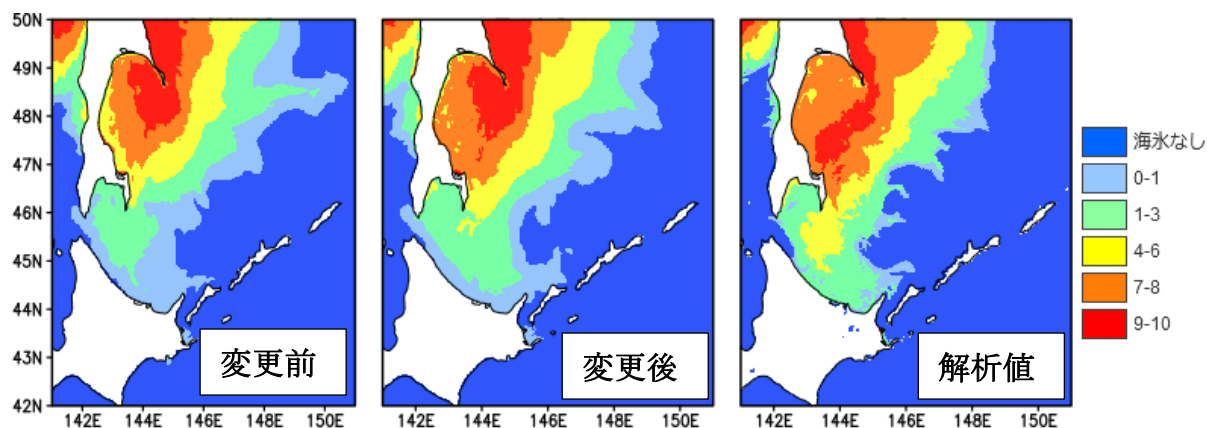


図 1 2021 年 1 月の JPN システムによる 4 日予測の海氷密接度の月平均値
変更前（左）、変更後（中央）、解析値（右）の海氷密接度を示す。